

佐賀・山口で大雨水被害

寺院8カ寺と門信徒宅が浸水

九州北部を中心に8月27日から29日にかけて、記録的な大雨となり、大規模な浸水被害などが出ている。

九州北部を中心に8月27日から29日にかけて、記録的な大雨となり、大規模な浸水被害などが出ている。

佐賀県武雄市や白石町、佐賀市、山口県下関市の8カ寺が本堂、庫裏、納骨堂の床上、床下浸水、墓地冠水、裏山の崩落による本堂

裏山の崩落による本堂

損傷などの被害を受けた。また、武雄市と唐津市の6カ寺の門信徒

また、武雄市と唐津市の6カ寺の門信徒

た。また、武雄市と唐津市の6カ寺の門信徒

唐津市の6カ寺の門信徒

唐津市の6カ寺の門信徒

唐津市の6カ寺の門信徒

唐津市の6カ寺の門信徒

唐津市の6カ寺の門信徒

唐津市の6カ寺の門信徒

唐津市の6カ寺の門信徒

宅で床上・床下浸水、ビニールハウス水没などの被害が報告されているが、引き続き情報収集を進めている。

宗派は、8月30日に佐賀教区教務所に災害見舞タオルを送り、9月3日には社会部の農利信部長が佐賀教区の災害対策委員会を訪ね、見舞金を伝達。同教務所職員と共に武雄市の8カ寺を見舞った。